

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



放課後の学習支援の様子

実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

活動名	放課後学習支援			
実施箇所名	三島市立東小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学習支援、居場所づくり、地域づくり		
	開催日数等	2回	実施場所	図書室・体育館
	参加児童・生徒数	合計200人	ボランティア数	15人
	<概要・特徴> 宿題や自分でやりたい学習を行い、それをボランティアが見てくれる。計算カードのタイムを計ってあげたり、本読みを聞いてあげたりした。また、宿題等が終わった子は、昔の遊びや、ボール遊びなど、さまざまな遊びにも取り組める場を設定している。同学年同士や、異学年の関わり、また保護者とはちがう大人との関わりを通して、さまざまなふれあいの機会としている。 ※放課後学習支援は平成28年から開始			
	<活動上の工夫> ・学習支援だけでなく、遊びやレクリエーション的な要素も取り入れて、楽しく参加できるようにした。 ・異学年でグループを作るなど、学年間の交流や高学年のリーダー性を養うようにした。			
	連携先	(大学のボランティアサークル)		
活動の成果	・宿題等も、友だちと一緒にあったり、親とは違う大人に見てもらったりすることで、子どもたちは集中して学習に取り組むことができていた。 ・放課後、家に帰っても誰もいない家庭にとっては、居場所づくりとなる。			
課題等	・放課後の時間帯（13:30～16:00頃）であるため、ボランティアの人数を確保するのが難しい。 ・下校の安全等を考え、保護者に通知を出して、毎回、参加児童を募集しているが、参加児童の把握や名簿の作成に時間を要する。			
備考	・行事を重ねるごとに多くの子どもたちが参加するようになり、子どもたちも楽しみにしている放課後学習支援となっている。			

参考URL	http://blog.city-mishima.ed.jp/blog-e/m101/&/p3
-------	---

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 26 年度
--------	----------

9月放課後学習の様子

活動名	放課後学習支援			
実施箇所名	三島市立西小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学習支援		
	開催日数等	月金各13回 毎月1～2回	実施場所	第2音楽室
	参加児童・生徒数	36 人	ボランティア数	18 人
	<概要・特徴> 補習や補講ではなく、元教員・地域のボランティアによる学習のサポートを目的とし、放課後学校で宿題のプリントやドリルをしたり、音読や九九などを聴いてもらったりする。時間があれば、学年ごとに復習プリントや百マス計算などに取り組んでいる。			
	<活動上の工夫> ・昨年度までは、学年を限定せずに、希望者を募集し行っていたが、今年度は、より成果を上げるために、対象を2、3、4年生に限定し募集をした。 ・募集後、月曜日と金曜日の2グループに分け、1回の人数を20人弱の少人数で行うことで、きめ細かな指導を工夫した。			
	連 携 先			
活動の成果	・昨年度課題になっていた希望児童数が多いことへの対応策を実行し、少人数で支援をしたことで、個別の支援を適切なタイミングで行うことができた、子ども達の意欲向上につながった。 ・児童が、ボランティアの方と関わることで、コミュニケーション能力や自己肯定感が高まっていった。			
課題等	・自分から意欲を持って参加している児童は、成果が上がっているが、保護者の意向で参加している児童の学習への取り組み方に課題が見られる。			
備考				
参考URL				

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



「おやじと遊ぼう」スイカ割りにチャレンジ！

実施開始年度	平成 28 年度
--------	----------

活動名	「学校に泊まろう」 / 「おやじと遊ぼう」			
実施箇所名	三島市立南小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	親子のふれあい、集団生活の規律、防災への意識づけと対応力の向上等		
	開催日数等	8月中旬～9月上旬	実施場所	三島市立南小学校
	参加児童・生徒数	約200 人	ボランティア数	30 人
	<概要・特徴> 南小学校「おやじの会」の年間行事の中の一つ。参加希望者を募り、夏休みを利用して、子供だけでなくおやじもいっしょに楽しむことを大切にしながら1泊2日のイベントを行う。 流しそうめんやスイカ割りなどのイベントを楽しむ一方で、子供たちの防災への意識づけと対応力を養う企画も盛り込んでいる。			
	<活動上の工夫> ・子供とおやじがいっしょに遊ぶ企画だけでなく、宿泊訓練や炊き出しなど、防災に対する意識を高めるための活動も行っている。 ・令和元年度は悪天候の影響により、延期した日を含めて中止となってしまったが、本校の子供たちにとっては毎年楽しみにしているおやじの会の行事である。			
	連 携 先	南小学校おやじの会		
活動の成果	・学校を身近にとらえる人が増え、学校からの呼びかけや支援ボランティア活動への参加に意識をもつ方が増えてきた。 ・以前まで盛んに行われていた地域の「子供会」が次々になくなってしまい、地域間の関わりが薄れる中で、子供だけでなく大人の方々も新たな人との関わり合いを得ることができた。			
課題等	・健康安全上の配慮や人数の把握等、事前に何度も綿密な打ち合わせを行っている。また、準備も大がかりなものになっている。 ・夏休み期間中に実施するため、参加者が限られてしまうことや、台風や猛暑など、天候によって実施内容が左右されることも課題である。			
備考	・おやじの会は平成15年度から開始 ・毎年1月下旬から2月上旬の間に、おやじの会主催で「もちつき大会」も行われている。			
参考URL				

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



ペープサートによる昼の読み聞かせ

実施開始年度	平成 28 年度
--------	----------

活動名	読み聞かせ・図書館整備			
実施箇所名	三島市立北小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	子供たちの読書推進、図書館整備		
	開催日数等	35	実施場所	各教室、図書室等
	参加児童・生徒数	763 人	ボランティア数	56 人
	<概要・特徴> 4月、「子ども読書の日」から、年間各学級5回、保護者・地域ボランティアで構成されている読み聞かせボランティア「ちちんぷい」が、朝の読み聞かせ活動を行っています。7月にはペープサートで昼の読み聞かせも行います。 また、毎月定期的に、図書館整備ボランティアが掲示物の作成や図書整理のお手伝いをしています。			
	<活動上の工夫> ・連絡メールを用いて、当番の調整や日程連絡を行い、担当の負担が減るようにしています。 ・長期休業明けには、全校児童が図書室から借りた本が1500冊ほど返却されますが、学校司書だけではできないので、ボランティアの方の協力を得ています。			
	連携先	読み聞かせボランティア、学校		
活動の成果	・読み聞かせでは、季節や子どもの実態に合った選書をしてくれるので、子どもたちも、読書に親しむことができます。 ・図書室前の掲示は、毎月季節にあった掲示を作成して張り替えてくれるので、子どもたちも図書室に足を運びやすい環境になっています。			
課題等	・ボランティアの人数を継続的に確保していくこと。			
備考				
参考URL	http://www.city-mishima.ed.jp/kita-e/			

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

ボランティアが学習支援をしている様子

活動名	錦田寺子屋			
実施箇所名	三島市立錦田小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学習支援		
	開催日数等	23回	実施場所	少人数教室
	参加児童・生徒数	32人	ボランティア数	11人
	<p>＜概要・特徴＞ 3年生の希望者を対象として、火曜日の6校時に年20回の学習支援活動や長期休業中に数日間の学習支援活動を行った。内容は、宿題の見守りである。</p> <p>＜活動上の工夫＞ ・下校時の安全を考え、6校時まで授業がある上級生と同じ時間帯に下校できるように配慮した。 ・出欠が明らかになるよう、担任との連絡簿を作成した。 ・国語と算数の教科書を準備した。</p>			
	連携先	三島市立錦田小学校		
	活動の成果	<p>・宿題の見守りにより、課題に対する児童の学習習慣が確立されつつある。 ・確かな学力の育成に寄与している。</p>		
課題等	<p>・ボランティアは学習内容を教えることが困難である。また、新たなボランティアが集まりにくい。</p>			
備考	※錦田寺子屋は平成30年度から開始			

参考URL	http://blog.city-mishima.ed.jp/blog-e/m105/&search?word=%BB%FB%BB%D2%B2%B0&all=1
-------	---

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	○
その他（通学合宿等）	



三島寺子屋（放課後学習支援）

実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

活動名	みしま寺子屋（放課後学習支援）			
実施箇所名	三島市立徳倉小学校			
活動の概要・特徴・工夫	目的	学習習慣と基礎学力の定着・地域の教育力向上		
	開催日数等	月曜日・全21回	実施場所	徳倉小学校 音楽室
	参加児童・生徒数	19人	ボランティア数	23人
	<概要・特徴> ・算数の学力の伸びに個人差が開きやすい3年生を対象に、学習習慣と基礎学力の定着を目的に学習支援を行っている。参加児童は、保護者に活動の趣旨を説明し、募集した。学習ボランティアは、地域の大学生が17人、地域ボランティアが6人。地域学校協働本部が中心となって、寺子屋コーディネーター(教員OB)を配置することにより、多くの地域住民や大学生の参画が可能となった。活動場所は、学習に集中できるよう、冷暖房が完備された音楽室を使用し、活動時間は月曜日の5校時終了後、15時から約1時間行っている。			
	<活動上の工夫> ・全員同じ算数のテキストを使用するが、進む速さは個のペースと理解力に合わせている。授業で学んだ内容の復習や補習を中心に、必要があれば前学年の復習も取り入れ、理解が深まるようにしている。 ・児童とボランティアでグループを組み、児童やボランティアに欠席者がいてもそのグループ内で対応し、ほぼ毎回マンツーマンの支援になるようにした。児童は、自分の担当者がはっきりすることで安心して学習にのぞみ、困ったことやわからないことを相談することができている。			
	連携先	（日本大学）		
活動の成果	・児童は、一斉授業の中で十分理解しきれなかった部分も、個別支援をしてもらうことで理解できるようになり、それをすぐに認めてもらえることが自信につながっている。できた、わかったという経験を積み重ねることで、算数嫌いになるのを防ぐことができる。保護者からも高評価を得ている。 ・ボランティアが参加して、他の地区・他校との情報交換会を行った。今後のよりよい支援の方法について検討している。			
課題等	・本年度までは、県のモデル事業（しずおか寺子屋）として取り組んだ。次年度からはモデル事業が終わるので、やり方を見直すことも考えないといけない。学習ボランティアの獲得のために、地域にもっと活動を知らせていきたい。			
備考	※みしま寺子屋は、平成29年度から開始			

参考URL	
-------	--

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 26 年度
--------	----------

トウモロコシの種植え

活動名	農事体験			
実施箇所名	三島市立坂小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	地域の特性を生かした農事体験活動		
	開催日数等	年10回程度	実施場所	坂小学校
	参加児童・生徒数	85(延べ350程)人	ボランティア数	15(延べ100程)人
	<概要・特徴> 地域の方から畑を借り、様々な農事体験に取り組んでいる。 多種多様な作物（ジャガイモ・スイカ・トウモロコシ・大根・ブロッコリー等）を育てることで、年間を通して活動している。			
	<活動上の工夫> ・収穫した野菜は給食の材料にも使用されているとともに、保護者等に購入してもらうことで販売体験もすることができる。 ・効率よく育てるための方法や苦労も教えてもらうことで、食べ物を大切にする心を高めるようにしている。			
	連携先	地域学校協働本部（坂小学校）、坂地区活性化協議会		
活動の成果	・坂地区の特色を生かした活動として、地域の方々、保護者と連携した教育活動の場となっている。 ・野菜を育てて収穫するだけでなく、目的を持って販売体験まで行うことで、キャリア教育にもなっている。 ・幼稚園児も一部の活動に参加することで、幼小連携活動の一つとなっている。			
課題等	・土作りを行うなど、児童が活動を行うに当たって、事前準備をおこなう必要がある。 ・多くのボランティアの方々の参加、指導は欠かせない。日程調整が必要になってくる。			
備考				
参考URL				

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

さのっ子応援隊の授業支援

活動名	授業支援 家庭科「ミシンの使い方」			
実施箇所名	三島市立佐野小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校支援		
	開催日数等	年6回	実施場所	家庭科室
	参加児童・生徒数	48 人	ボランティア数	6 人
	<p>＜概要・特徴＞</p> <p>5年生の家庭科の学習内容に「ミシンの使い方」の学習がある。学校のミシンの使用は関係の学習内容を扱うときに限られているため、糸の絡まりなどのトラブルが起こりやすく、教員もすぐに対応しきれないことがある。そのため、ボランティアでの支援をお願いした。</p>			
	<p>＜活動上の工夫＞</p> <p>・さのっ子応援隊のボランティア及び5年生保護者に呼び掛けて、授業支援を実現した。</p>			
	連 携 先	学校支援ボランティア、5年生保護者		
活動の成果	<p>・「ミシンの使い方」の基本部分で、適切な支援を受けながら、児童が活動することで、学習内容の定着が見られた。</p> <p>・その後の実習では、エプロンづくりに取り組んだが、基本の使い方がマスターできているので、スムーズに学習内容を進める児童の姿が見られた。</p>			
課題等	<p>・ボランティアと指導者との事前打ち合わせを確保することが難しい。</p>			
備考				
参考URL				

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

地元の大学生、塾講師が夏休み中の補習を支援

活動名	さとのこ学習会			
実施箇所名	三島市立中郷小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	夏季休業中の学習支援、地域の人材育成		
	開催日数等	夏季休業中の3日間	実施場所	学校パソコン室
	参加児童・生徒数	90人	ボランティア数	9人
	<概要・特徴> 学校支援地域本部が、夏休みの補習を「さとのこ学習会」と称して行った。参加は希望制で、夏休みの宿題が主な教材である。1日あたり30人の参加希望があり、3日間で延べ90人の児童が参加した。講師は教員ではなく、地域人材である。			
	<活動上の工夫> 「地域の子どもは地域で育てる」を具現化するため、講師は地元の高校生、大学生、塾講師にした。			
	連携先	学校支援地域本部（中郷小学校）		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">子どもたちは地元の大学生や塾講師から教えてもらうので、地域への所属感が増した。大学生や塾講師は地元の小学生に教えることで地域への貢献度が増し、地域人材の育成につながった。			
課題等	<ul style="list-style-type: none">夏休み中の3日間に教えてくれる講師を確保することが難しい。			
備考				

参考URL	http://blog.city-mishima.ed.jp/blog-e/m109
-------	---

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



ボランティアによる放課後の学習支援

実施開始年度	平成 26 年度
--------	----------

活動名	放課後学習支援活動「かわせみ教室」			
実施箇所名	三島市立沢地小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校支援・家庭学習補助		
	開催日数等	36日	実施場所	さわやかルーム・研修室
	参加児童・生徒数	64人	ボランティア数	12人
	<概要・特徴> 授業が5時間の日の放課後に、年度始めに参加希望がある子供を保護者の承諾を得て、低学年（2、3年）・高学年（4～6年）に分けて学習支援に取り組んでいる。学習内容は、その日の宿題を中心に行っている。 年1～2回のレクリエーション（独楽づくり、ボールゲーム等）活動にも取り組んでいる。			
	<活動上の工夫> 本校の学校支援地域本部は、活動内容によって、「学習活動支援」・「校内環境整備」・「子供見守り活動」・「放課後学習支援」の4つに分けられている。上述の活動は、その中の「放課後学習支援」を担当する方々が支援にあたっている。 支援については、やり終わった宿題に間違いが無いか確認したり、難しい課題に対してヒントを与えたり、親代わりに音読を聞いてもらったりすることに絞られている。			
	連携先	地域学校協働本部「かわせみ」学習ボランティア		
活動の成果	・地域の方々による「放課後学習」が設けられ、5年目を迎えている。子供たちや保護者の信頼が積み重なってきており、なくてはならない活動になっている。 ・「放課後学習支援」で学校の宿題をやり終えてしまうことが習慣化されてきており、レクリエーションよりも学習を望む子がいる。			
課題等	・個別に困難なケースもあるが、支援の方々が教師ではないための甘えによる私語や出歩きへの学校との協力体制も整えられている。 ・「放課後学習」ボランティアの高齢化および人数減がみられる。新規募集に苦慮している。			
備考	※放課後学習支援活動「かわせみ教室」は、平成27年度から開始			

参考URL	
-------	--

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



清掃のない水曜日の清掃ボランティア

実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

活動名	水曜清掃ボランティア			
実施箇所名	三島市立向山小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校支援		
	開催日数等	毎週水曜日 年15回	実施場所	昇降口、1階廊下
	参加児童・生徒数	0人	ボランティア数	4人
	<p>＜概要・特徴＞</p> <ul style="list-style-type: none">・今年度、向山小では、水曜日が特別日課になっているため清掃がない。しかし、立地の関係上、風が強いので、多くの砂が昇降口や1階廊下にたまってしまう。そこで、地域学校協働本部で検討し、水曜清掃ボランティアを募集することになった。			
	<p>＜活動上の工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">・水曜日の午後、それぞれの都合の良い時間に来校してもらい、15から30分程度、無理のない範囲で活動してもらっている。・強力なハンディー・クリーナー(掃除機)を複数購入し、作業効率が高るように配慮した。			
	連携先	学校		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">・木曜日の登校時にきれいな昇降口を見て、子どもたちが喜んでいる。また、きれいにしてもらっていることに感謝する気持ちが育ってきている。			
課題等	<ul style="list-style-type: none">・もう少しボランティアの人数を増やしたい。現在4名で、内1人は6年生の保護者なので、今年度いっぱいの約束である。活動の人数を増やして活動の内容も広げていきたい。			
備考				
参考URL				

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



絵本から飛び出した『にゃーご』に夢中の子供たち

実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

活動名	図書ボランティアによる演劇			
実施箇所名	三島市立北上小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	子供にとっての豊かな体験づくり		
	開催日数等	3日	実施場所	北上小学校体育館
	参加児童・生徒数	300人	ボランティア数	20人
	<概要・特徴> ・図書ボランティア有志による演劇 ・三島市文化振興課による絵本作家宮西達也氏による読み聞かせとのコラボレーション ・1、2年生は授業として、他学年児童に対しては昼休みのお楽しみとして実施			
	<活動上の工夫> ・図書ボランティアの活動場所を校内に確保し、ボランティアの人たちが活動しやすいようにした。 ・ボランティアの人たちのやりがいとなるよう、自校だけでなく他校へ活動を広めた。（修善寺町立南小学校）			
	連携先	三島市文化振興課（クリエイティブワークショップ）		
活動の成果	市役所文化振興課のクリエイティブワークショップ「絵本作家宮西達也氏による読み聞かせの会」に続いて、本校図書ボランティア『ウォームハート』による、演劇を披露した。舞台装置・衣装・小道具まで本格的な公演を行い、子供たちに大きな感動を届けた。 30年度：ふしぎなかさやさん 元年度：にゃーご			
課題等				
備考	※図書ボランティアによる演劇は、平成30年度から開始			
参考URL	http://blog.city-mishima.ed.jp/blog-e/m112			

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



パソコン室を使っでの学習支援

実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

活動名	放課後チャレンジ学習			
実施箇所名	三島市立山田小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	子どもの学習支援、地域の人材活用		
	開催日数等	週2回、年70回程度	実施場所	パソコン室
	参加児童・生徒数	33人	ボランティア数	10人
	<p>＜概要・特徴＞</p> <p>毎週月・金の2日間、1時間程度、地域住民が子どもたちの学習支援をしている。また、夏季休業中も3日間、2時間程度学習支援をしている。</p> <p>3年生以上の希望者を対象に、宿題、ドリルやeライブラリを利用して、各学年ごとに分担し、学習支援をしている。</p> <p>＜活動上の工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">・地域学校協働本部のコーディネーターが中心となり、各ボランティアとの連絡調整も行っている。・パソコン室を使用することにより、eライブラリが活用できるようになった。			
	連携先	自治会		
	活動の成果	<ul style="list-style-type: none">・地域のボランティアの方々に教えてもらうことは、子どもたちも質問もしやすく、集中もしやすい。・普段接することのない大人と接することにより、様々な考え方を学ぶことができる。また、ボランティアの方々も子どもと接することで地域の和が広がっている。		
課題等	<ul style="list-style-type: none">・ボランティアを毎年募集しているが、増えていない。・ボランティアの指示が通らないことがある。			
備考				
参考URL				

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 28 年度
--------	----------

地域住民や学生が子供たちの学習を支援

活動名	夏の公民館学習			
実施箇所名	三島市立長伏小学校（長伏公民館・松本公民館・御園公民館）			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学習支援、地域住民との交流		
	開催日数等	3日	実施場所	各地区公民館
	参加児童・生徒数	6年生19人	ボランティア数	延べ70人
	<概要・特徴> 中郷西中学校が行っている、地域の公民館で行う夏季講習会に、長伏小学校6年生の希望者が参加した。講師は、地元の塾の先生、大学生、高校生、退職教員等に依頼した。夏休みの課題を中心とした自主学習を講師が支援した。1時間の学習後、地域についての歴史や、防災についての学習会を行うところもあった。			
	<活動上の工夫> ・地域学校協働本部が中心となり、会場準備、講師の依頼、当日の運営を行った。学校では、6年生児童に対して説明会を行った後、参加者を募集した。 ・公民館への行き帰りは保護者の責任のもとで行うようにした。			
	連携先	地域学校協働本部（長伏小学校）・中郷西中学校・中郷小学校・公民館・自治会		
活動の成果	・子供たちはエアコンの効いた快適な環境の中、集中して学習に取り組むことができた。また、ボランティアの方々に疑問点を聞き、教えてもらうことで学力が高まり、地域住民や学生との良好な関係づくりに役立った。 ・中郷西中、長伏小、中郷小の3校合同行事であり、小中連携を進めることができた。			
課題等	・平日の午前中の活動であり、継続的に講師を確保できるか。 ・3校の地域学校協働本部の連絡調整。 ・当日の欠席や変更の連絡。			
備考	※夏の公民館学習は、令和元年度から開始			

参考URL	
-------	--

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 21 年度
--------	----------

実行委員会の様子(地元の人や事業所と幅広くつなぐ)

活動名	職業講話・職場体験・未来講座			
実施箇所名	三島市立錦田中学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	人材育成		
	開催日数等	1日・2日・1日	実施場所	主に校区内
	参加児童・生徒数	435人	ボランティア数	のべ49人
	<概要・特徴> 各学年で計画しているキャリア教育を進めていく上で、「講師」や「受入事業所」が必要になる。それらを保護者や教職員のツテを頼りに、または市からの紹介リストを頼りに見つけていくのだが、学校側の希望どおりにはならないことがある。しかし、地元の人や事業所と幅広いつながりがある支援本部の方々に依頼するとすぐに願いをかなえてくれるのである。			
	<活動上の工夫> ・昨年度の事後アンケート（講師や受入事業所回答）結果を本年度に生かした。（活動時間の延長など） ・早い段階で学校からの要望を支援本部に伝え、協力先を募るようにした。			
	連携先	事業所		
活動の成果	・子どもたちにとって「自分の生き方と社会との関わり」「よりよく生きるために必要なこと」を考える場になった。 ・地域（の方々）にとって「職業人としてどのように社会貢献したらよいのか」「社会として子どもをどのように育てていったらよいのか」を考えることができた。			
課題等	・人材発掘をいかにしていくか 支援本部のメンバーは保護司、民生児童委員の方以外はすべて、歴代のPTA会長を経験された方である。ご子息が卒業後も本校の教育活動に深い理解と愛情をもって支えてくださっている。しかし、現メンバーの方々がいつまでも携われるとはかぎらないので学校応援団の方々をさらに発掘したい。			
備考				
参考URL				

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



スペシャリストによる職業講話

実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

活動名	1年生 職業講話			
実施箇所名	三島市立南中学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校支援（キャリア教育）		
	開催日数等	12月5日	実施場所	三島市立南中学校
	参加児童・生徒数	179 人	ボランティア数	9 人
	<概要・特徴> 南中地域学校協働本部実行委員の主催で、1年生対象の職業講話を実施した。講師の方は、南中地域学校協働本部実行委員の皆様からの紹介で集まり、それぞれの職業について、職業観や人生観等の講話を行った。生徒は9つの職種の中から希望する2名の方の講話を聞く形をとった。			
	<活動上の工夫> ・講師の先生方はその道のスペシャリストであり、どの講話もとても魅力的な内容であった。生徒は真剣に講話に聞き入っていた。 ・南中地域学校協働本部実行委員の方々の人脈で、素晴らしい講師を招聘することができている。			
	連 携 先	（個人事業主、企業、公務員等）		
活動の成果	・南中地域学校協働本部の活動として定着している。活動のノウハウが蓄積され、講師の方々との連携がより深まった事業となっている。 ・生徒にとって、地域の方々と触れあう場面は貴重な体験であるため、この事業を有効に活用でき、質の高い活動となっている。			
課題等	・理想は全生徒が全講話に参加できると良いのだが、時間の確保が難しい。 ・今回出会った講師の方々と今後も連携し、教育活動に関わっていただける機会を設けていく。 ・事業実施について、講師の方の意見を十分に聞き、講師の方も充実感をもてる事業にしていくよう工夫していく。			
備考	※職業講話は平成28年度から開始			

参考URL	
-------	--

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



ボランティアの方々による夏休みの学習支援

実施開始年度	平成 26 年度
--------	----------

活動名	夏季学習会			
実施箇所名	三島市立北中学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	生徒の学習支援		
	開催日数等	夏季休業中各学年5日程度	実施場所	会議室等
	参加児童・生徒数	全学年で150 人程度	ボランティア数	10 人
	<概要・特徴> ・夏季休業中の課題や個人の問題集の問題を解いている時、分からないことへの対応をする。 ・この学習会に学校側の教科担当が全て付き添うことができないときに、外部人材が教えることで、参加した生徒が学習を進められる。			
	<活動上の工夫> ・学習会について、1か月前から学校側と打ち合わせをし、外部人材の参加者等との日程調整をしていること。			
	連 携 先	三島北中学校		
活動の成果	・生徒にとって、教科担当の先生がその場にいなくても、直ぐに質問し、教えてもらえるので、その先に、学習を進めることができる。			
課題等	・中学校の学習内容を教えることのできる外部人材を増やすのが大変である。			
備考	※夏季学習会は、平成28年度から開始			
参考URL				

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



放課後の学習に取り組む生徒たち

実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

活動名	NGO活動（放課後学習支援）			
実施箇所名	三島市立中郷中学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校支援、学習支援		
	開催日数等	21日	実施場所	中郷中学校 総合室 (2階・3階・4階 3教室使用)
	参加児童・生徒数	一回あたり約30人	ボランティア数	6人
	<概要・特徴> 本校の地域学校協働本部は学習支援を主な活動としている。「基礎学力の補充が必要な生徒のための支援」を目的としており、「なかざとちゅう」「がくしゅうえん」「おたすけたい」頭文字をとって「NGO活動」という愛称で親しまれている。 活動内容は、前半の11月までは全学年の生徒を対象に、国・数・英の小テスト（サポートテスト）で合格をしなかった生徒への補充学習を、12月からは3年生を対象に受験に向けた支援として「基礎学力の補充」と「面接・作文練習」を行っている。			
	<活動上の工夫> ・支援ボランティアは国語2名、数学2名、英語2名で計6名。参加生徒数は、事前に行った小テストの結果によって異なるが、毎回約10名前後の生徒が各教科の学習に参加している ・できるだけ少数できめ細かな指導ができるようにサポートテストの内容を工夫している。			
	連携先	中郷中地域学校協働本部		
活動の成果	・基礎学力の定着につながっている。（数学の計算力について、定期テスト等で成果を感じることができた。） ・ていねいに教えてくださるため、学力の低い子どもたちも学習意欲を持続することができている。 ・少人数の学習のため、質問をしたり、発表をしたり、普段の授業ではできない体験をすることができ、楽しく学習活動に取り組むことができた。			
課題等	・12月から3年生の受験対策に重きを置いて指導を行っており、1、2年生の学習支援が行われていない。3年生の指導と、1、2年生の指導を両立して進められるようにしたい。 ・学習支援ボランティアの高齢化が進み、新しいボランティアがなかなか見つからないことが喫緊の課題である。			
備考				
参考URL				

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	○
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 26 年度
--------	----------

大学生や地域住民による放課後学習支援

活動名	みしま寺子屋			
実施箇所名	三島市立北上中学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	子供の学習支援、地域の人材育成		
	開催日数等	27	実施場所	北上公民館
	参加児童・生徒数	18人	ボランティア数	15人
	<概要・特徴> 木曜日の午後6時から8時まで、大学生や地域住民の方々が生徒の学習を支援している。 学習習慣を身に付けたい生徒を対象に、ボランティアが少人数及び個別（生徒2～3人に対して支援者1人）を基本にして学習を支援している。			
	<活動上の工夫> ・地域学校協働本部が中心となって、寺子屋コーディネーター(教員OB)を配置することにより、多くの地域住民や大学生の参画が可能となった。 ・大学(日本大学国際関係学部)との連携により、学生の履修前に寺子屋の募集説明会を実施することで、大学生のボランティアが増えた。			
	連 携 先	(日本大学)		
活動の成果	・親や教師とは違う大人に見てもらうことで、生徒は集中して学習に取り組み、学習への積極的な取組姿勢や安定した学習習慣が身に付いた。 ・身近な大学生や地域住民等、保護者とはちがう大人との関わりを通して、様々なふれあいの機会となっている。 ・大学生のキャリア形成や地域住民の生きがい、安心した地域づくりなど、支援する側にとっても有用な活動となっている。			
課題等	・放課後の時間帯（木曜日18:00～20:00）であるため、継続的なボランティアの人数確保が難しい。 ・予算確保が課題となっている。特に令和2年度からの予算確保が喫緊の課題である。			
備考				

参考URL	
-------	--

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

高校生・大学生・地域住民による学習支援

活動名	中郷西中学校学校応援団夏期講習会			
実施箇所名	公民館・自治会館（梅名・安久・八反畑・長伏・松本・御園）			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	地域児童生徒の学習支援		
	開催日数等	3日間	実施場所	各地区公民館・自治会館
	参加児童・生徒数	延べ320 人	ボランティア数	延べ80 人
	<概要・特徴> 災害時に避難所となる地域の公民館の場所を知ること、地域の生徒は地域で育てることを目的として地域学校協働本部(学校応援団)の主催で7月29日(月)～31日(水)の3日間、午前8時30分から9時30分の1時間の学習会を行った。また、地区によっては地域の方による学習会も30分程度行われた。本年度は長伏小、中郷小の6年生児童まで対象を拡大して実施した。			
	<活動上の工夫> <ul style="list-style-type: none">・地域学校協働本部の部員が責任者となり、地域の塾講師、教職経験者、本校卒業の大学生や高校生を中心に延べ80名が講師として協力して頂いた。・地域の小6～中3の児童生徒が夏休みの宿題を持ち寄って学習を行い、わからないところを講師に質問する個別指導の形態で行った。・会場はエアコン完備の快適な環境、仲間と学ぶことで学習意欲の高まりも期待した。昨年度まで教員も分担して指導を行ったが、本年度から地域の方が主体となって実施するよう計画した。			
	連 携 先	（自治会、公民館、中郷小学校、長伏小学校、中郷西中学校）		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">・自治会・町内会長などの地域住民の参加が見られ、地域の方に本校の生徒のようすを知ってもらえた。・講師として本年度の教育実習生や卒業生が参加した。実習生は本校生徒のようすを知ることができ、卒業生は地域の中の中学校という関わりをあらためて感じてもらえた。・地域の方が主体となることで、地域の子どもは地域で育てるという意識が高まった。			
課題等	<ul style="list-style-type: none">・7月下旬は、大学や高校の行事が集中する時期であり、講師の召還が難しい。・夏期講習・高校の体験入学などがあり、中学3年生の参加者が少ない。・準備・計画(講師の手配、名簿作成や参加者集約)など中学校の負担も大きい。			
備考	※中郷西中学校学校応援団夏期講習会は、平成28年度から開始			
参考URL	http://blog.city-mishima.ed.jp/blog-j/m125			

市町名	三島市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 27 年度
--------	----------

地域住民による朝の読み聞かせ

活動名	読み聞かせ(山田中学校本読み隊)			
実施箇所名	三島市立山田中学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校支援		
	開催日数等	6月・10月・1月	実施場所	各教室
	参加児童・生徒数	267 人	ボランティア数	15 人
	<概要・特徴> 中学校区の地域の皆様が年間3回（6月、10月、1月）に3日ずつ来校し読み聞かせを行っている。（在校生の保護者も含む） 毎年、教育課程内に読み聞かせの時間を位置づけられるよう、世話役と教頭(教務主任)が連携を取り合っている。			
	<活動上の工夫> ・世話役の方が人員調整を事前に行い、当日の準備を担当に一任している。 ・読み聞かせ後は必ず振り返りを行い、良い点や課題を出し合い、次回の読み聞かせに生かすよう活動している。			
	連 携 先			
活動の成果	・毎回、読み手が変わるため、生徒は興味深く短い時間ではあるが、しっとりした雰囲気の中で聞くことができる。 ・学校評価において図書室の利用状況が昨年度よりも向上していることにもこの地域の皆様による読み聞かせは効果があると思われる。			
課題等	・本読み隊の活動をより活発にし、読書の充実を図るためにも、図書室、図書館司書との連携が課題として挙げられる。 ・生徒は常に聞き役になっているが、教科(国語科)との連携を図り、立場を変えて生徒が「本読み隊」の皆様に読み聞かせを行う活動を取り入れていきたい。			
備考				
参考URL				

市町名	富士宮市
-----	------

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



地域住民が協力して学校環境整備

実施開始年度	平成 21 年度
--------	----------

活動名	プール清掃			
実施箇所名	富士宮市立貴船小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校周辺環境整備		
	開催日数等	年 1 回	実施場所	プール
	参加児童・生徒数	0 人	ボランティア数	17 人
	＜概要・特徴＞ 水泳の授業が開始される前に行う児童によるプール清掃が、安全に安心して行えるようにサポートしたいとの思いから活動が始まった。児童がプール清掃をする際に、泥等で滑ってしまう危険性を考慮して、ボランティアの方々がプールに溜まった泥や、石、ゴミ等の清掃活動をしている。			
	＜活動上の工夫＞ ・登録している全会員に、活動への協力依頼のお知らせを配布する。 ・無理せずできるように、活動している。			
	連 携 先	富士宮市地域学校協働本部		
活動の成果	・継続して活動を行っているため、ボランティアの協力者が増えている。また、会員以外の方にも声を掛け、会員登録のない地域の方も参加・協力してくれている。 ・事前にボランティアの方々が清掃しているので、その後の児童による清掃活動では、安全・安心に活動を行うことができている。			
課題等	・ボランティアを募集しても日中働いている方が増え、参加者を募るのに苦労している。継続して募集をすることが活動を続けていくために大切なことだと考えている。			
備考				
参考URL				

市町名	富士市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



「間違えずにできるようになったね。」「嬉しいな！」

実施開始年度	平成 26 年度
--------	----------

活動名	富士市放課後学習支援ボランティア事業			
実施箇所名	市内小中学校（小学校27校、中学校11校）			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	児童生徒の確かな学力の育成		
	開催日数等	週1回 年20回程度	実施場所	小中学校 教室
	参加児童・生徒数	1120 人	ボランティア数	212 人
	<概要・特徴> 小学校は3年生を中心に45分程度、中学校は1時間程度、国語、算数・数学を中心に、児童生徒の基礎学力定着を目指して実施している。地域住民、保護者、大学生など、学習支援に熱意のある方々が「放課後学習支援ボランティア」として登録し、教育委員会委嘱ののち、各校で活動している。			
	<活動上の工夫> 習熟度別に実施する、年間を通して支援する児童生徒を固定して実施するなど、各本部の実態に応じて支援方法を決定している。 要望のある本部には、コーディネーターを1人配置し、プリント教材の作成や、ボランティア間の連絡調整役などを依頼し、事業が円滑に実施されるよう努めていただいている。			
	連 携 先	放課後児童クラブ、コミュニティ・スクール（本部により異なる）		
活動の成果	「放課後学習は楽しい」と答えた子どもは、91.2%に上る。「国語や算数・数学の学習が好きになってきた」と感じる子どももそれぞれ9割を超えており、ほとんどの子どもが、本事業を通じて自身の成長を実感することができている。 ボランティアの方々もまた、そうした子どもの伸びを肌で感じ、ともに喜びながら、指導方法や接し方をさらに工夫しようとしている。			
課題等	保護者からの希望も強く、参加を希望する児童生徒が年々増加している。しかし、すべての子どもにきめ細かに対応するだけのボランティア数を確保することが難しい。特に、中学校では、学習内容の難易度が上がることから、希望者が少なく、苦慮している。 校内の教室を利用して行っていることもあり、「学校支援本部」としての実態からなかなか抜け出せない状況にある。			
備考				

参考URL	https://www.city.fuji.shizuoka.jp/sp/kyouiku/c0205/fmervo000001i7or.html
-------	---

市町名	裾野市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	令和 元 年度
--------	---------

漢字検定合格に向けて

活動名	放課後学習支援：ステップアップクラブ			
実施箇所名	裾野市立南小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	生涯学習へつなげる子どもと地域住民の取り組み		
	開催日数等	月2回：年20回	実施場所	学校：会議室
	参加児童・生徒数	45人	ボランティア数	2人
	<p><概要・特徴></p> <ul style="list-style-type: none">・平日の放課後、漢字検定合格に向けての学習を希望する子どもたちが集まり、月2回自主的に学習している。・地域の方も参加して、子どもと大人が同じ目的をもって学びに取り組んでいる。 <p><活動上の工夫></p> <ul style="list-style-type: none">・子どもと保護者・地域の方が同じ目的で一緒に学ぶことにより互いに刺激し合う場にしていく。・諸団体の助成金を活用し、必要な教材等を準備した。			
	連携先	シニアクラブ		
	活動の成果	<ul style="list-style-type: none">・地域の方が参加することにより、子どもたちに生涯学び続ける生涯学習の視点が意識づけられた。・子どもたちが目的を持って学ぶ姿を保護者や地域の方に理解してもらうことができた。		
課題等	<ul style="list-style-type: none">・今後の予算の確保が課題となる。・放課後の時間帯のため、保護者や地域の方の参加に限られる。・学校を通じて児童の募集や漢検受験の手続きを行ったが、運営面や事務的な作業をボランティアが行っていくシステムを構築したい。			
備考				
参考URL	http://www2.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2210015			

市町名	東伊豆町
-----	------

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 21 年度
--------	----------

地域の大人による学習支援

活動名	東伊豆町学校支援地域本部事業			
実施箇所名	東伊豆町立熱川小学校・稲取小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	放課後の子ども達の見守り活動、学習支援、学校行事支援		
	開催日数等	熱川小：月火木金 稲取小：水	実施場所	熱川小：図工室 稲取小：理科室
	参加児童・生徒数	10 人/日	ボランティア数	30 人
	<概要・特徴> 平日の放課後等に子ども達の下校見守りを実施し、子ども達の安全の確保に努めている。また、見守りを通して、ボランティアと子ども、子どもと地域住民とのコミュニケーションの場づくりにもつながっている。 学習支援では、学習習慣を身に付けさせるとともに、家庭事情等により、家に帰れない（保護者不在等）等の居場所づくりにもなっている。 また、学校行事の支援では、学校の方針を尊重しながら各種団体と連携して、地域とのつながりができるようにしている。			
	<活動上の工夫> ・地域学校支援本部のコーディネーターを中心に、ボランティアと相談し、大人が全て教えるのではなく、年上が年下の子の面倒を見るようにしている。 ・子ども自身、子ども間、家庭の問題等にも耳を傾け、子どもの居場所（心の）を作る場としている。			
	連 携 先	学校・町教育委員会・PTA・町社会福祉協議会・町青少年問題協議会		
活動の成果	・子ども間、地域や各種団体の大人とのコミュニケーションがとれるようになり、子ども達も積極的にあいさつをするようになった。 ・相談に乗ることで、子どもの悩みの解決にもつながった。			
課題等	・ボランティアの高齢化により、新たな人材を募集しているが、なかなか増えない状況であり、いかに若い層の人たちを取り込むかが課題。			
備考				
参考URL				

市町名	南伊豆町
-----	------

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



親子によるお正月しめ縄飾り作り

実施開始年度	平成 29 年度
--------	----------

活動名	南上小学校支援地域本部			
実施箇所名	南上小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	PTAや地域の住民を加えた「地域と共にある学校づくり」を目的とする		
	開催日数等	年14回程度	実施場所	南上小学校区
	参加児童・生徒数	50人	ボランティア数	20人
	<p><概要・特徴></p> <ul style="list-style-type: none">自分たちにできることからということで、地域の方々が学校周辺の草刈りや河川清掃などを行っている。小規模の小学校区なので、家族のように接している様子が見られ、アットホーム感がある。 <p><活動上の工夫></p> <ul style="list-style-type: none">その分野に精通している方や、自分の畑などで採れたものを題材としているため手際が良く、愛着が湧くような体験ができる。			
	連携先	南上小学校支援地域本部		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">地域の方々と触れ合うことで、子どもたちも昔ながらの体験ができることと、そこからいろいろな話を聞くことができる。子どもたちと触れ合うことで、ご年配の方々がいきいきとしている。			
課題等	<ul style="list-style-type: none">予算（県補助金）確保ボランティアをしてくれる方々が高齢のため、今後の事業継続に不安がある。			
備考				
参考URL				

市町名	函南町
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



「丹那の豊かさを味わう」学びと交流

実施開始年度	平成 20 年度
--------	----------

活動名	自給自足DAY			
実施箇所名	函南町立丹那小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	地域総がかりの教育を進めるため、地域の人材や魅力的な素材との交流を活かした学びを創造する		
	開催日数等	1日	実施場所	丹那小学校
	参加児童・生徒数	67人	ボランティア数	8人
	<概要・特徴> ・「丹那の豊かさを味わうことを通して自然と共に生きていることを実感する」というねらいのもと、栽培する作物を考え、世話をし収穫した作物を11月20日の自給自足DAYに調理し、全校で味わう。また、当日は栽培を支えてくださった方や学校運営協議会の方を招待した。 ・地域の自給自足アドバイザーや函南東部農協青年部のみなさん、CSとの連携により「自給自足」が成り立っている。			
	<活動上の工夫> ・2つの学年で、サツマイモや大根、小松菜、にんじん等の作物を栽培することで、協力したり、話し合ったりする機会を意図的に作り活動を進めた。味噌は、6年生が5年生時に、地域の方から指導していただいて作ったものを利用した。 ・自給自足DAY当日は、中高学年は調理、低学年は会場準備等、安全面や発達段階を考慮し学年に応じた活動を取り入れた。			
	連 携 先	(函南東部農協、CS関係者)		
活動の成果	・地域の方の協力を得ながら、全校規模で栽培・調理し、食べるという一連の活動を通して、当初のねらいであった地産地消による「丹那の秋」を実感することができた。 ・異学年で調理や会場準備をすることで、上級生が下級生にアドバイスしたり相談したりしながら活動する姿が見られリーダー性が育った。 ・当日のメニューをシンプルにすることで、それぞれの素材の良さが引き出すことや丹精こめて作った物を食することで、食に対しての意識に変容が見られた。			
課題等	・全ての畑が学校の敷地内がないので、子供達がいつも目にする環境とは言えない。 ・「自給自足」を謳っているが、夏休みの水やりや草刈り等は教員やCS関係者が行っており、全ての活動を児童が担うまでには至っていない。子供達の安全を考えるとやむを得ないと捉えている。 ・次年度は校地内で栽培も視野にいれて検討している。			
備考				

参考URL	
-------	--

市町名	長泉町
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 24 年度
--------	----------

ミシンボランティア

活動名	長泉町地域学校協働本部			
実施箇所名	長泉中学校、北中学校、長泉小学校、北小学校、南小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校支援、地域の人材育成、まちづくり		
	開催日数等	167	実施場所	各学校
	参加児童・生徒数	町内小中学生	ボランティア数	151 人
	<概要・特徴> ・町内小中学校に学校の要望に応じ151人のボランティアさんが活動している。 ・小学校…支援級補助、家庭科授業支援（調理実習、ミシン）、運動会低学年児童見守り、懇談会時等の託児、キャリア教育講師、地域の名人講師、環境整備 ・中学校…放課後学習支援、浴衣の着付け、キャリア教育講師、環境整備			
	<活動上の工夫> ・毎月定例会を実施し、ボランティア内容を確認したり準備をしたりしている。			
	連 携 先	長泉町内小中学校		
活動の成果	・担任一人では、限界のある指導も複数の大人が入ることによって多くの子どもたちに支援が出来、学びの充実につながっている。 ・子どもとの関わりでボランティアさんの生きがいと満足感。			
課題等	・学校と地域のボランティアさんの気持ちのズレがある。 ・学校によってボランティア依頼の数に偏りがある。			
備考				
参考URL	http://town.nagaizumi.lg.jp/soshiki/shogai/index.html			

市町名	小山町
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 21 年度
--------	----------

地域ボランティアによる授業支援

活動名	家庭科授業支援			
実施箇所名	須走小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校支援		
	開催日数等	2日	実施場所	家庭科室
	参加児童・生徒数	20人	ボランティア数	4人
	<概要・特徴> ・ミシン縫いに慣れながら袋づくりをする学習である。班学習で児童が教え合いながら順番にミシンを使って縫っていく。ミシンを使わない時は手縫いで進めるという進め方である。支援員さんには1～2班を担当してもらい、ミシンの調整と縫い方を見てもらった。			
	<活動上の工夫> ・教員と支援の方々とは短時間であったが学習の目標、見てほしいところ等を確認した。毎年、支援してくれる方々なので、子どもの理解の様子やどこまで手を出してよいのかを心得ていてくれ、学習がスムーズに進んだ。工夫ではないが、毎年支援してくれる方々なので児童への対応が適切で有難い。			
	連携先	ボランティアすみれ会		
活動の成果	・ボランティアによく見てもらい、作品の出来上がりにあまり差がなかった。 ・ボランティアが2日連続で、4時間も自分たちのために来てくれたことに、児童は感謝と親しみの気持ちを持ち、学校と地区とのつながり、地区の人も先生という感を少し持ったように感じる。			
課題等	・今回の学校応援ボランティアの方々とは、自分の住んでいる地区ではない学校へ出かけて支援をしてくれた。できれば学区内にボランティアがいてくれると児童とボランティアの普段のつながりができてよいのだが… ・ボランティアの方々とは5年生2学級を支援し、4日間連続して通ってくれた。大変ありがたいことだと思う。交通費位出せるといいのだが…と感じる。			
備考				
参考URL				

市町名	島田市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	令和 元 年度
--------	---------

保護者相談の様子など、公民館でも紹介

活動名	初倉南小学校地域学校協働本部			
実施箇所名	初倉南小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	家庭教育相談、地域の人材育成等		
	開催日数等	月1日程度	実施場所	相談室等
	参加児童・生徒数	— 人	ボランティア数	— 人
	<概要・特徴> 初倉南小学校にコーディネーター1名を置き、学校と地域をつないでいる。また、島田市ペアレントサポーターが家庭教育支援員となり、小学校に入り、保護者からの相談を受けやすい体制を作っている。			
	<活動上の工夫> ・保護者の相談の場をつくり、気軽に相談できる体制を作ることで、保護者の不安軽減に努め、教員の負担を軽減している。 ・学校と地域とのつながりが分かるよう学校の活動の様子をまとめ、学校や公民館に掲示し、周知している。			
	連 携 先	学校、公民館		
活動の成果	・家庭教育に不安のある保護者の話を聞くことで、保護者の負担軽減につながった。 ・地域とのつながりの様子をまとめ、掲示することで、学校と地域との連携を目に見える形で周知できている。			
課題等	・CSが全小・中学校で配置されていく中で、CSと本部事業との連携をどのようにしていくか。 ・限られた予算の中で、効果的に実施する方法を模索していく必要がある。 ・コーディネーター等の人材をどのように確保していくか。			
備考				
参考URL				

市町名	島田市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 25 年度
--------	----------

「二中コミュ・カフェ」

活動名	島田第二中学校区地域学校協働本部			
実施箇所名	島田第二中学校			
活動の概要・特徴・工夫	目的	学びの場の提供、家庭教育相談、地域の人材育成等		
	開催日数等	月3～8日程度	実施場所	会議室等
	参加児童・生徒数	－人	ボランティア数	延べ71人
	<概要・特徴> 島田第二中学校にコーディネーター1名を置き、学校と地域をつないでいる。「二中コミュ・カフェ」と呼んでいる保護者向けの講座を年に5回程度実施し、保護者がつながる場を提供している。また、講座をきっかけとし、保護者が学校に来る機会をつくり、保護者と学校との距離感を縮めている。			
	<活動上の工夫> ・保護者同士のつながりの場を提供し、また、保護者の相談を聞くことで、不安軽減に努め、教員の負担を軽減している。 ・ボランティアとの連絡調整を行うことで、地域とつながりができている。			
	連携先	学校		
活動の成果	・「二中コミュ・カフェ」に参加した保護者のアンケートからは、「自分の子ばかりではないんだあって、今回参加させてもらって分かりました」という意見も見られた。保護者同士が話し合う機会を設けることで、保護者の不安軽減につながった。			
課題等	・CSが全小・中学校で配置されていく中で、CSと本部事業との連携をどのようにしていくか。 ・限られた予算の中で、効果的に実施する方法を模索していく必要がある。 ・コーディネーター等の人材をどのように確保していくか。			
備考				
参考URL				

市町名	島田市
-----	-----

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	○
その他（通学合宿等）	



地域の大人・中・高・大学生が学習を支援

実施開始年度	平成 29 年度
--------	----------

活動名	しまだはつくら寺子屋			
実施箇所名	初倉地域総合センター(初倉公民館)・初倉南小・湯日小			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学習支援		
	開催日数等	毎週水曜日	実施場所	研修室等
	参加児童・生徒数	51人	ボランティア数	17人
	<概要・特徴> 「しまだはつくら寺子屋」は、平成29年度初倉中学校区において、初倉小学校に隣接する初倉公民館の館長が寺子屋コーディネーターとなり、新たにしずおか寺子屋を立ち上げた。公民館、市教育委員会が運営を助け小学校3年生の算数の学習支援を行っている。			
	<活動上の工夫> ・学習支援員は開始前30分の指導内容や指導方法の共通理解と終了後30分の振り返りで子供たちの情報を共有。			
	連携先	公民館、中学校		
活動の成果	・各小学校を卒業した初倉中学校生徒が支援員となって母校の小学生の学習をサポートする「教育の循環」が生まれている。			
課題等	・学びが必要な子が増えた半面、読解や書く指導などより基本的な指導事項ややる気が続かないなどの子への対応に困難さが出てきている。 ・他学区からのニーズもあり、市内各地域への広がりを模索していきたい。また、少ない予算の中で実施する方法も考えたい。			
備考				
参考URL				

市町名	掛川市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 24 年度
--------	----------

中学生と地域住民と一緒に活動

活動名	一部一ボランティア活動			
実施箇所名	桜が丘中学校区子ども育成支援協議会			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	中学生の地域貢献活動		
	開催日数等	11日	実施場所	駅、公園、福祉施設、園、学校など
	参加児童・生徒数	406人	ボランティア数	584人
	<概要・特徴> 中学校の部活動ごとに、学区内の公園や駅などの地域施設の清掃、こども園や小学校との交流を行うボランティア活動を行う。			
	<活動上の工夫> ・地域から活動をしてほしい場所を地域コーディネーターが募り、学校に伝えることで、学校側が活動場所を選定する負担を軽減している。			
	連携先			
活動の成果	・地域の公共施設を清掃することで、自分たちの地域を住みやすいものにしてしようとする意識が生まれ、地域に貢献しようとする心が生まれる。 ・中学生と地域住民と一緒に活動を行うことで、地域ぐるみで子どもを育てようとする意識が生まれてきた。			
課題等	・地域からの要望が多いが、部活動との兼ね合いもあり、すべての要望に応えることができていない。			
備考				
参考URL				

市町名	藤枝市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



地域の先生による「あやとり」実演

実施開始年度	平成 22 年度
--------	----------

活動名	生活科「昔のあそびに親しもう」			
実施箇所名	藤枝市立青島北小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	地域の人材活用		
	開催日数等	令和2年1月14日	実施場所	体育館
	参加児童・生徒数	102人	ボランティア数	21人
	<概要・特徴> 1年生の生活科「昔のあそびに親しもう」において、コマ・あやとり・お手玉・けん玉の遊び方を、地域の方々が「先生」となって、子どもたちと触れ合いながら指導しました。			
	<活動上の工夫> ・授業のサポートについては、地元のコーディネーターが、事前に学校や地域と必要な人数などについて調整しながら進めました。 ・ただ口頭で指導するだけではなく、実際に技を披露したり、子どもの手を取り合ったりして指導しました。			
	連 携 先	地元ボランティア		
活動の成果	・先生方だけでは指導が難しい授業について、地域の方の力によって、より良い授業となりました。 ・自分や友達の祖父母がサポーターとして指導してくれることで、子どもたちは初めてのサポーターでも親しめることができました。			
課題等	・学校側からの要望に、日程やボランティアの都合によっては、対応できない場合もある。			
備考				
参考URL				

市町名	菊川市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 21 年度
--------	----------

生け花クラブ指導の様子

活動名	ボランティアによるクラブ活動講師			
実施箇所名	内田小学校、加茂小学校、小笠北小学校、堀之内小学校、河城小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	地域人材による学校支援		
	開催日数等	年3～6回程度	実施場所	各小学校
	参加児童・生徒数	約130人	ボランティア数	31人
	<概要・特徴> 小学校のクラブ活動の時間に、地域住民が自らの趣味や特技を活かして子供たちの活動を指導・支援している。			
	小学校4年生から6年生を対象に、各学校の要望に応じ手芸、料理、生け花、絵手紙、ラッピング、剣詩舞、陶芸など多彩な活動が行われている。			
	<活動上の工夫> ・一部の学校では、市の文化祭や地区センターまつりににおいてクラブ活動の成果を発表する場が設けられており、学校と地域が連携し、学校活動を地域に知ってもらう機会となっている。 ・将来ダンス指導者を目指す高校生が講師となり、ヒップホップダンス指導のボランティアを担当した。			
	連携先	自治会		
活動の成果	・地域学校協働本部が中心となり、活動を広報することで学校からの支援依頼が年々増加している。長年活動を支援している学校では、ボランティアが指導を主導し、先生方も子供たちと共に楽しむ姿が見られる。 ・子供たちと地域住民等とのふれあいの機会となっている。			
課題等	クラブの指導を担当するボランティアの高齢化が顕著であり、後継者の選定が課題となっている。			
備考	開設クラブ数、参加児童数は学校により異なる。 (内田小約80名、加茂小約10名、堀之内小約10名、河城小約30名)			
参考URL				

市町名	牧之原市
-----	------

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	令和 元 年度
--------	---------

さつまいもを収穫する児童と支援ボランティア

活動名	ふるさと科 さつまいもの栽培			
実施箇所名	相良小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校支援		
	開催日数等	7日	実施場所	さつまいも畑・校庭
	参加児童・生徒数	80 人	ボランティア数	16 人
	<概要・特徴> ふるさと志向力を子どもたちに育成するために、さつまいもの栽培活動を地域のボランティアと行い、学校のねらいを地域と共有する活動である。1年間を通じ畑の耕やし、苗植え、草取り、水かけ、収穫をボランティアと関わりながら活動した。社会参加や社会貢献を通して育むキャリア形成、自己の生き方を考える学習となった。			
	<活動上の工夫> 活動を通して学んだ事を地域に発信する手段として市主催のイベントである田沼意次300年祭に、子ども達が自ら提案・実践したさつまいもの販売も大好評であった。			
	連 携 先	牧之原市教育委員会社会教育課片浜事務所（TEL：0548-52-0311）		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">子どもたちが地域社会と交流する事により様々な体験や経験の場が増え、規範意識、コミュニケーション能力の向上につながった。さつまいもの栽培活動が福祉教育、税の学習に広がった。ボランティアが組織化され地域の活性化につながった。			
課題等	<ul style="list-style-type: none">学校の職員との十分な打合せの時間がとりにくい。学校がボランティアに期待する活動内容が明確でない。協力していただいたボランティアとの継続的な協力関係の維持			
備考				
参考URL				

市町名	袋井市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 28 年度
--------	----------

地域の方と一緒に大豆の植え付け

活動名	みづかわスタッフ			
実施箇所名	袋井市立三川小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	学校と地域のつながりを密接にし、地域ぐるみで子育てを支援する		
	開催日数等	57日	実施場所	学校・畑・コミセン等
	参加児童・生徒数	165人	ボランティア数 (重複も含む)	120人
	＜概要・特徴＞ ・家庭やコミュニティセンター（公民館）を通じて「みづかわスタッフ」を募集している。 ・大きく分けて「授業支援」「活動支援」「学習支援」「環境整備」の4つの活動で、教育活動に協力している。			
	＜活動上の工夫＞ ・「自分ができる活動を、できる時に」を大切に取り組んでいる。 ・メール配信システムを活用して、参加者の把握をしている。 ・コミュニティセンターを活用した地域と子どもとの交流の場づくりに取り組んでいる。			
	連携先	三川小学校、コミュニティセンター		
活動の成果	（子ども）地域の大人とのふれあいを通して、地域の一員であるという自覚や郷土愛が育まれている。 （学校）活動の事前準備を地域学校協働で行うことで、学校の負担軽減につながっている。 （地域）活動に参加している人のやりがいや生きがいにつながっている。			
課題等	・地域支援の内容の精査と支援分野ごとのスタッフの拡大 ・地域でできる支援の輪を広げるための住民への周知 ・業務負担にならないための相互理解と効率化の手だて			
備考				

参考URL	
-------	--

市町名	袋井市
-----	-----

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	○
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 29 年度
--------	----------

計画的な自学の定着、ICTも効果的に活用

活動名	南の丘寺子屋			
実施箇所名	袋井市立袋井南中学校			
活動の概要・特徴・工夫	目的	子どもの学習支援		
	開催日数等	月2回・年22回程度	実施場所	学校木工室・金工室等
	参加児童・生徒数	58人	ボランティア数	13人
	<p><概要・特徴></p> <ul style="list-style-type: none">・地域学校協働本部のコーディネーターが、寺子屋のコーディネートを行うことで、学校と地域の連絡調整がスムーズになり、円滑な運営が行われている。・タブレット端末を用いた学習支援コンテンツや電子辞書を活用した学習を積極的に取り入れている。また、オンライン英会話では、インターネットを活用し、外国人との1対1の会話を通して子供たちが生の英語を体験している。			
	<p><活動上の工夫></p> <ul style="list-style-type: none">・タブレット端末や電子辞書の活用で、調べ学習や定着度をチェックする。・1～3年の5教科のプリントを用意し、子どもがチャレンジしたいものをコピーして取り組んでいる。			
	連携先	静岡理科大学、市内コミュニティセンター等		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">・自分の計画で自学するという形態が定着してきた。・ICTを効果的に活用し、タブレット端末内のアプリでの学習や、オンライン英会話に取り組んだ。・オンライン英会話では、述べ60人以上の生徒が、ネイティブスピーカーと教科書に準じた内容や英語検定に備えた内容等の英語を使ったコミュニケーションに挑戦した。・参加人数が全校生徒の1割を超える状況となり、木工室のみでは対応できないため、金工室も借用した。			
課題等	<ul style="list-style-type: none">・3年目を迎え、人数増と慣れから私語や集中を欠く様子が見られるとともに、出席率が低下している。・開催時刻の関係で学生ボランティアの確保が難しかった。			
備考	<ul style="list-style-type: none">・今後は、夏休みに、数楽講座、英語ゲーム、リコーダー講座などの工夫を凝らした特別講座を実施していく。			
参考URL				

市町名	湖西市
-----	-----

地域学校協働本部	○
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度	平成 25 年度
--------	----------

出発式（体験に出発する児童とボランティアさん）

活動名	ふるさとの日			
実施箇所名	知波田小学校			
活動の概要・ 特徴・工夫	目的	地域の方々から、体験を通じて地域の歴史や産業等を学びます。		
	開催日数等	1日	実施場所	浜名湖、地元農場 ほか
	参加児童・生徒数	150人	ボランティア数	19人
	<概要・特徴> 全校児童が6コース15班に分かれて、伝統芸能の役者体験や浜名湖の干潟観察、地元農場の小松菜の収穫体験、地元鉄工所の見学等の体験を通じて、地域の歴史や文化、産業などを地域の人と触れ合いながら学びました。			
	<活動上の工夫> コーディネーターさんが調整して、地域の様々な人たちの協力のもと、児童が普段の生活では体験できないようなことを経験できるように6コース準備しました。また、各コースがスムーズに進められるようにボランティアさんへの役割の調整をしました。			
	連 携 先	付き添いボランティア、湖西歌舞伎保存会、地元農家、地元鉄工所 ほか		
活動の成果	学校で普段学べない地域のことを地域で教えていただき、児童たちも貴重な体験ができて喜んでいました。			
課題等	今後も継続していけるようにボランティアを確保していくこと。			
備考				
参考URL				